

九学院同窓会だより

ブラウンチャペルに
同窓新成人が二百人

1月10日(月・祭日)、同窓会「チャペル成人式」が九州学院ブラウンチャペルにおいて2年ぶりに開催されました。この



イベントは、新成人の節目を迎える卒業生を母校へ迎え、恩師・先輩・家族などで晴れ姿をお祝いする趣旨で同窓会「若手の会」が中心となつて行つてい

ます。オミクロン株感染の急激な再拡大の不安の中にも、新成人約200人が集まり、小副川チャペルの司式で厳粛に祝福礼拝が行われ

ました。礼拝の後、阿部九州学院院長、山崎同窓会会長、松藤若手の会会長、清田同窓会次期会長、緒方育友会

会長から祝辞を頂き、それに応えて濱田康大朗元生徒会長が謝辞を述べ、最後に記念写真

となりました。新成人の皆さんのご多幸をお祈り致します。

11月20日、同窓会主催による「新卒業生クラス代表と同窓会役員

の懇親会」が3号館ホールで行われました。この催しは、新たに同窓会員(S74回生)と

なる高校3年生の各クラス代表世話役と同窓会幹部との連携強化と親睦を目的に、毎年この時期に実施している

新卒代表・同窓会役員
恒例の懇親会を開催



会場には各クラス代表生徒、同窓会役員、教職員など総勢約40人が集い、阿部英樹九州

学院院長、山崎恒雄同窓会長による挨拶の後、各代表生徒が自己紹介

と決意表明を行いました。なお、今回も新型コロナウイルス感染拡大防止のため昼食(弁当)は全員持ち帰りとな

りました。

12月19日、東京都文京区の講道館において「JOCジュニアオリンピックカップ2021

年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会」が行われ、女子52kg級

母校に育英奨学基金
金一百万円を贈呈

11月12日、九州学院に在籍する学業優秀な

生徒に贈る育英奨学基金として、200万円

の寄付が、山崎恒雄同窓会長から九州学院の

福田桐理理事長に手渡されました。育英奨学基金としており、201

4年からはこの基金は「九州学院ナルドの壺

基金」に組み入れられています。毎年、九州学院

中学校・高等学校に在籍する奨学生A有資格者の中

から特に優秀であると認められた生徒に対して奨学金として支給されています。

金メダル村上選手
「ゴールドポスト」
九学通りにお目見え

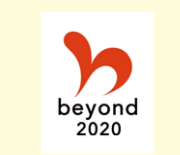


2021年の東京オリンピックの野球サムライジャパン日本代表として金メダル獲得に貢献したプロ野球ヤクルトの村上宗隆選手(S70回卒)をたたえる「ゴールドポスト」が11月7日、県内で初めて設置されました。

場所は母校の九州学院敬愛寮と日本福音ルーテル大江教会が面する九学通り沿いで、九州学院界隈の新たな人気スポットとして連日多くの見学者で賑わっています。

「ゴールドポストプロジェクト」は内閣官房が日本郵便と協力して東京五輪・パラリンピックで金メダルを獲得した日本代表選手等の出身校などのゆかりのある地域の郵便ポストを金色のポストに交換することにより、選手等の栄光をたたえ、選手等を輩出した地域を盛り上げるプロジェクトです。第一号が昨年9月に神奈川県藤沢市に設置され現在順次全国で設置が進められて

ますが、熊本県内ではこのポストが初お目見えとなります。当事者(選手)の意向を参考に出身校や練習場所などの近くにある既存のポストを交換する形で、全国で設置が進められています。ポストの投函口の下には、村上選手の名前や出身地などが点字を含め、大会のエンブレムと共に刻まれた金属のプレートも添えられています。



シリーズ
羽ばたく同窓生

セ・MVPを受賞
村上宗隆氏(S70回)

ヤクルト・スワローズ村上宗隆内野手(S70回・2018年卒)が、セ・リーグ最年少記録でMVP(最優秀選手賞)を受賞しました。村上選手は今季、ヤクルトの不動の4番打者として全試合に出場し、史上最年少での通算100号を達成。打率2割7分8厘、39本塁打、112打点の成績を残し、初の本塁

打者として全試合に出場し、史上最年少での通算100号を達成。打率2割7分8厘、39本塁打、112打点の成績を残し、初の本塁

打者として全試合に出場し、史上最年少での通算100号を達成。打率2割7分8厘、39本塁打、112打点の成績を残し、初の本塁

打者として全試合に出場し、史上最年少での通算100号を達成。打率2割7分8厘、39本塁打、112打点の成績を残し、初の本塁

打者として全試合に出場し、史上最年少での通算100号を達成。打率2割7分8厘、39本塁打、112打点の成績を残し、初の本塁

全日本剣道選手権で初優勝
星子啓太氏(S69回)

11月3日に東京日本武道館で開催された剣道の第69回全日本選手権大会で九州学院OBの星子啓太4段が2度目の出場で見事初優勝を果たしました。前回大会3位の星子選手は、決勝で同じ筑波大学の先輩林田匡平5段に2本の面を決めて見事な勝利を飾りました。小学生時代の全国少年剣道大会で全国2

位に入賞して以来、これまで数々の大会で全国優勝を果たしていま

す。高校ではインターハイでの個人・団体優勝をはじめ、魁星旗、選抜・玉竜旗などで九州学院の大将として活躍をされており、筑波大学3年時には、全日本学生選手権個人で日本一に輝いています。

大相撲の唯一の九学院OBの現役力士、序の口西10枚目の井上(井上知洋氏・J68回・木瀬部屋)が、九州場所において7戦全勝で初の各段優勝を果たしました。九州学院中学校を卒業した2015年の春場所初土俵の後、一時は幕下西の25枚目まで番付を上げましたが、右膝負傷のため2020年の7月場所から8場所連続で休場。序の口にまで転落して久々土俵に復帰した九州場所で見事優勝を決めました。序二段9枚目で臨んだ今年の初

全日本ジュニア柔道体重別準優勝
園田華菜氏(S72回)

12月19日、東京都文京区の講道館において「JOCジュニアオリンピックカップ2021年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会」が行われ、女子52kg級で園田華菜選手(東京学芸大2年)が準優勝しました。園田選手は九州学院高校柔道部時代も主力選手として活躍しました。将来がさらに期待され女子柔道界の有望選手です。

園田選手は九州学院高校柔道部時代も主力選手として活躍しました。将来がさらに期待され女子柔道界の有望選手です。

九州場所での序の口初優勝
井上知洋氏(J68回)



大相撲の唯一の九学院OBの現役力士、序の口西10枚目の井上(井上知洋氏・J68回・木瀬部屋)が、九州場所において7戦全勝で初の各段優勝を果たしました。九州学院中学校を卒業した2015年の春場所初土俵の後、一時は幕下西の25枚目まで番付を上げましたが、右膝負傷のため2020年の7月場所から8場所連続で休場。序の口にまで転落して久々土俵に復帰した九州場所で見事優勝を決めました。序二段9枚目で臨んだ今年の初

園田選手は九州学院高校柔道部時代も主力選手として活躍しました。将来がさらに期待され女子柔道界の有望選手です。

オリンピックの木庭監督
41年ぶりにリングに
木庭浩一氏(S28回)



11月6、7日、宮崎県えびの市で開催された「第一回全日本マッスボクシング大会」で木庭浩一(九学ボクシング部監督(S28回)が中村司氏(群馬)とエキシビジョンマッチを行いました。

熊本地震復興記念パフォーマンス作品「水と火と木、そして再生の物語」が3月12日に熊本県立劇場で上演されます。総合演出が映画監督の行定勲氏で、高良健吾氏(S58回)の出演が決まりました。表現の核となるバックダンサーは熊本を中心に九州在住の6人で、それぞれに震災の時に抱いた思いを胸に舞台上でどのような表

復興記念パフォー
マンス出演
高良健吾氏(S58回)



熊本地震復興記念パフォーマンス作品「水と火と木、そして再生の物語」が3月12日に熊本県立劇場で上演されます。総合演出が映画監督の行定勲氏で、高良健吾氏(S58回)の出演が決まりました。表現の核となるバックダンサーは熊本を中心に九州在住の6人で、それぞれに震災の時に抱いた思いを胸に舞台上でどのような表

九学ラグビー部OB
ラグビー男子セブンス日本代表に
石田大河氏(S68回)



12月26日には「2021タイトル受賞祝賀会」(九州学院野球部OB会主催)が熊本ホテルキャッスルで開かれ、現役プロ野球OBをはじめ関係者約250人が集まり村上選手の快挙を祝いました。

熊本地震復興記念パフォーマンス作品「水と火と木、そして再生の物語」が3月12日に熊本県立劇場で上演されます。総合演出が映画監督の行定勲氏で、高良健吾氏(S58回)の出演が決まりました。表現の核となるバックダンサーは熊本を中心に九州在住の6人で、それぞれに震災の時に抱いた思いを胸に舞台上でどのような表

熊本地震復興記念パフォーマンス作品「水と火と木、そして再生の物語」が3月12日に熊本県立劇場で上演されます。総合演出が映画監督の行定勲氏で、高良健吾氏(S58回)の出演が決まりました。表現の核となるバックダンサーは熊本を中心に九州在住の6人で、それぞれに震災の時に抱いた思いを胸に舞台上でどのような表

熊本地震復興記念パフォーマンス作品「水と火と木、そして再生の物語」が3月12日に熊本県立劇場で上演されます。総合演出が映画監督の行定勲氏で、高良健吾氏(S58回)の出演が決まりました。表現の核となるバックダンサーは熊本を中心に九州在住の6人で、それぞれに震災の時に抱いた思いを胸に舞台上でどのような表